

令和元年度末 職員の異動についてとメッセージ

「普通」という尺度～共に生きるため～

教頭 市川 正人

2年間、大変お世話になりました。

温かく素敵な生徒の皆さん、本校の教育活動にご理解とご協力を惜しまない保護者の皆様、本校を温かく見守り、ご支援いただいた地域の皆様様に恵まれ、とても楽しい一時を過ごすことができました。

人は「十人十色」です。同じようにやりたくても、多くの人ができるやり方ではやるのが難しい人もいます。

よく「そんなの普通でしょ」と言われることがありますが、「普通」とは、他人を自分の物差しで測って、こうあるべきだと決めてしまうことではないかと思うのです。

「そんなの普通でしょ」と言われて、あなたの隣の仲間が傷ついているかもしれません。

今、世界が混沌としている中で、「共生社会」の実現が叫ばれています。「共生（共に生きる）」とは、誰もが「同じ事」を「同じだけする事」を「平等」に課す社会から、誰もが同じように参加できる「公平」な社会に転換していくことだと思います。

言い換えれば、誰もが弱みをさらけ出せ、一人一人の状況に合わせて、お互いに強みを活かして弱みを補い合っていこうとするのが、当たり前の社会にしていくことです。

ぜひ、「共に生きる」第一歩を踏み出してください。

保護者の皆様、地域の皆様には、本当にお世話になりました。お子様をお預かりしている間、至らぬ事も多々あったとは思いますが、いつも温かくご支援くださいまして、誠にありがとうございました。今後とも、金ヶ作中学校の生徒たちや教職員を温かく見守っていただけたら幸いです。

皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

